

HiKOKI

取扱説明書

用途

- 木造建築における、接合金物の釘および、ドリフトピン止め作業
- 木造建築用途全般

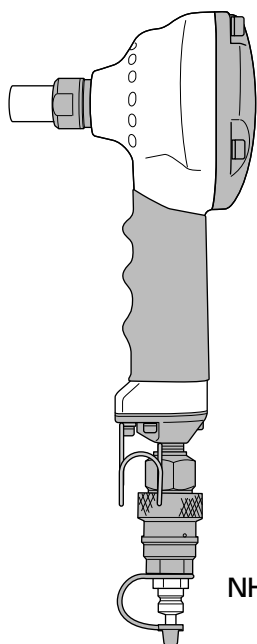
高圧ばら釘打機

NH 125HD

ばら釘打機

NH 125AD

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



NH 125HD

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

釘打機の安全上のご注意	1
ばら釘打機の使用上のご注意	6
各部の名称	7
仕様	8
標準付属品	8

使い方

釘の選び方	9
ご使用前の点検・準備	11
ネイルガイドの組み替え	13
エアホースの接続	14
釘・ドリフトピンを打つ	15
釘の打ち方	16
ドリフトピンの打ち方	19
調圧器について 【NH 125HDのみ】	20

その他

保守・点検	21
使用潤滑油	22
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

釘打機の安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- この取扱説明書で記載する「釘」は、それぞれ個別の説明が記載される場合以外は、釘とドリフトピンの両方を示します。

⚠警告

作業前

① 保護メガネを使用してください。

- 作業中は、保護メガネを使用してください。
- 周りの人にも保護メガネをかけさせてください。
木材・釘の破片、打ち損じの釘が目当たる恐れがあります。

①



② エアコンプレッサ以外の動力源は使用しないでください。

本機は、エアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使用すると、爆発の恐れがあります。

②



警告

③ 高圧釘打機を使用する場合は、高圧釘打機用エアコンプレッサと専用の高圧エアホースを使用してください。

- 高圧釘打機は、使用圧力を一般圧の釘打機より高く設定しています。高圧釘打機用エアコンプレッサと専用の高圧エアホースを使用してください。
- 高圧釘打機およびこれらのエアコンプレッサ、エアホースのエアプラグ、エアソケットも専用となっており、一般圧の物と接続できないようにしてあるので、改造をしないでください。

④ 機体の打撃音や排気音、排気空気から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。

⑤ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

⑦ エアホースを接続する前に、次の点検をしてください。

- ねじ類がゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
 - ネイルガイドがスムーズに動くこと。
- 異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⑧ エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- 釘がセットされていないことを確認する。
 - ネイルガイドに触れたり、対象物に当たった状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。
- 誤って釘を打った場合、けがの原因になります。

⑨ 釘をセットする前に、エアホースを接続し、次の点検をしてください。

- エアホースを接続しただけで、機体内部のピストンが連続作動しないこと。
 - 空気漏れや異常音がしないこと。
- 異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

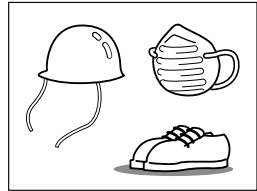
⑩ 指定された用途以外には使用しないでください。

本機は、木材または類似の材料への釘打ち作業を目的とした工具です。

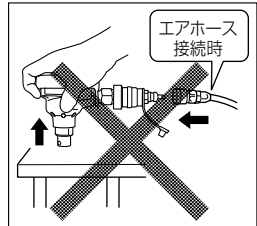
⑪ 指定の釘を使用してください。

指定された釘以外の物を使用すると、けがや機体の故障の原因になるので使用しないでください。

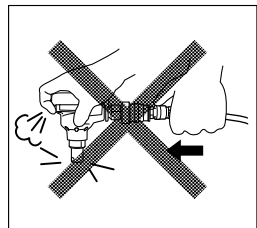
⑤



⑧



⑨



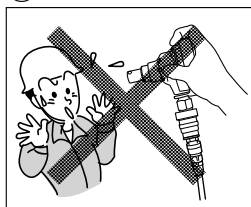
警告

- ⑫ 子供を近づけないでください。
- 作業員以外、釘打機やエアホースに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑬ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- 散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
- ⑭ 作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

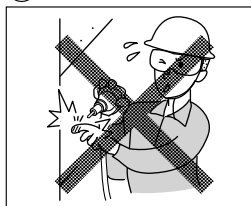
作業中

- ① 指定の空気圧で使用してください。
空気圧が高すぎると、機体の破裂や損傷の恐れがあります。
- ② 人体に射出口を向けないでください。
人体に射出口を向けて、誤って釘を打った場合、けがの原因になります。
- ③ 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
誤って釘を打ったり釘が跳ね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ④ 釘を打ち込む材料の裏側に、手や体を置かないでください。
釘が突き抜ける、材料が欠けるなど、けがの原因になります。
- ⑤ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で、釘打機やエアコンプレッサを使用しないでください。
釘を打ち込むときの火花による引火や、空気と一緒に吸引圧縮され、爆発や火災など、事故の原因になります。
- ⑥ 次の場合は、エアホースをはずしてください。
- 使用しない場合や作業中断時、使用後。
 - 点検・修理・調整、釘詰まりの直しなどの場合。
 - 釘打機を移動する際や手渡しする場合。
誤って作動する恐れがあります。

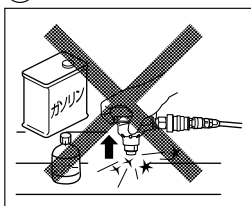
②



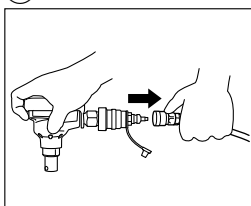
③



⑤



⑥



警告

⑦ 作業中は周りの人に注意してください。

- 木材・釘の破片や、打ち損じた釘が当たる恐れがあります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。機体や材料などを落としたとき、事故の原因になります。

⑧ 薄い板や木材の端に釘を打たないでください。

薄い板に打つと釘が突き抜ける、木材の端に打つと釘がそれるなど、けがの原因になります。

⑨ 機体の反発に注意してください。

かたい所に打った場合、機体が跳ね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

⑩ 壁や柱の両側から同時に釘打ち作業をしないでください。

打った釘が突き抜ける、壁ぎわの釘がそれるなど、けがの原因になります。

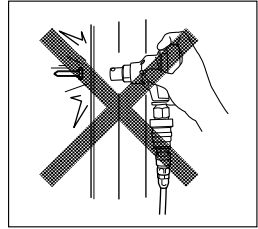
⑪ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 高所作業のときは、釘打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。転倒や転落する恐れがあります。

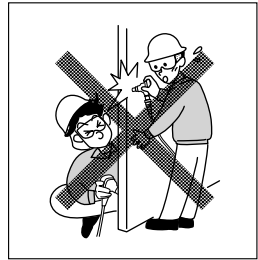
⑫ 屋外での作業は、次のことに注意してください。

- 高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに固定してください。不意にエアホースを引っかけたりした場合、けがの原因になります。
- 屋根などの斜面で釘を打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあります。
- 床などの水平面で釘を打つときは、前進しながら作業してください。後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
- 壁などの垂直面に釘を打つときは、上から下へ作業してください。

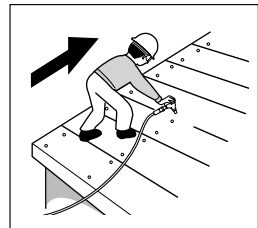
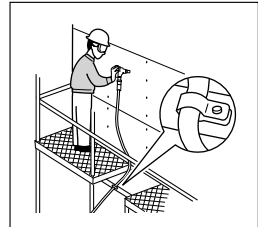
⑧



⑩



⑫



⚠ 警告

- ⑬ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 釘打機を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑭ エアホースをつかんで機体を移動しないでください。
- ⑮ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
内部の圧縮空気で破裂の恐れがあります。
- ⑯ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

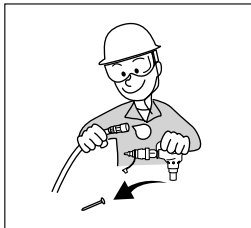
⑯



作業後

- ⑰ 作業後は、エアホースをはずしてから、釘を全部抜き取ってください。
釘を残しておく、次に使用するときなど、誤って作動した場合に、けがの原因になります。
- ⑱ 釘打機やエアコンプレッサ、接続機器・器具は直射日光に長時間当てたまま放置しないでください。
- ⑲ 釘打機は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくため、釘打機は常に手入れをし、清潔に保ってください。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ⑳ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ㉑ 部品をはずしたり、改造をしないでください。
安全性が損なわれ、事故やけがの原因になります。
- ㉒ 釘打機の修理は、専門店で依頼してください。
修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

⑰



ばら釘打機の使用上のご注意

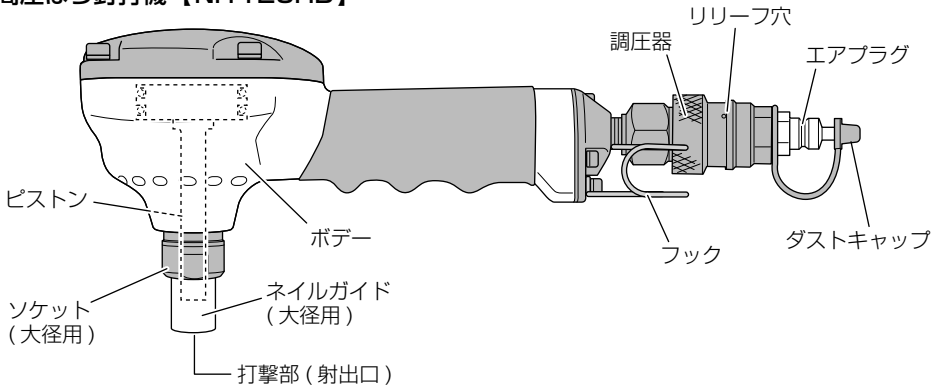
先に釘打機として共通の注意事項を述べましたが、ばら釘打機について、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

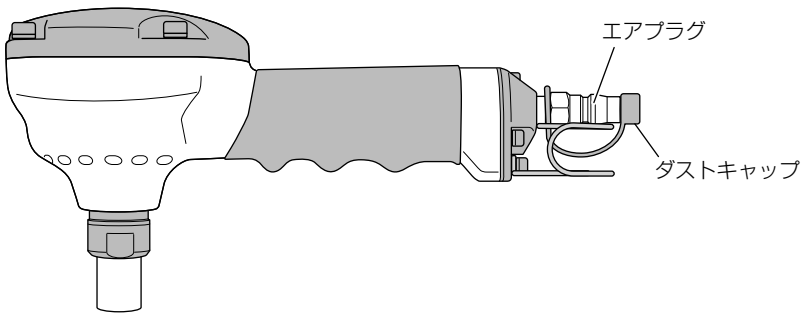
- ① **使用前にソケットを規定トルクで締付けてください。**
ソケットがゆるんだまま打ち込み作業を続けると、ソケットとネイルガイドがはずれる恐れがあります。
- ② **使用前にネイルガイドの動きを確認してください。**
エアホースを接続しないで、ネイルガイドの先端を木材などに押し当て、確実に動くか確認してください。
ネイルガイドの動きが不完全のまま使用すると、釘がはずれることがあります。
- ③ **エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。**
 - ネイルガイド内に釘が入っていないことを確認してください。
 - 射出口は下に向け、付近に人体、手足がないことを確認してください。
 - ネイルガイドの先端を台や床などに載せないでください。
誤って釘を打った場合、けがの原因になります。
- ④ **釘のセットは、慎重に行ってください。**
 - 釘をネイルガイド内にセットするときは、釘の先端を持たずに軸を持ってください。
 - 釘をネイルガイド内にセットするときは、釘がピストン先端を押さないように注意してください。
 - 釘をネイルガイド内に2本以上入れないでください。
ピストン先端を押し、作動する恐れがあります。
- ⑤ **釘を打つとき以外は、釘をネイルガイドにセットしないでください。**
誤って釘を打つ恐れがあります。
- ⑥ **釘を打つときは、釘の先端を確実に打ち込み対象物に押し付けてください。**
釘が跳ね返る恐れがあります。
- ⑦ **指で釘を保持して打ち込むときは、次のことに注意してください。**
釘を打つ順序は、釘の先端を打ち込み対象物に当て、その後、ネイルガイドの中に釘頭を入れてください。
釘が跳ね返ったり、誤って作動し釘を打った場合、けがの原因になります。
- ⑧ **接合金物への釘止め作業は、釘の先端が接合金物の穴に入ったことを確認してから打ち込んでください。**
釘が跳ね返る恐れがあります。
- ⑨ **本機を金づちの代わりに使用しないでください。**
- ⑩ **長時間の釘打ち作業は避けてください。**
本機での釘打ち作業はできるだけ短時間にしてください。また連続作業は避け、作業の間に適当な休止時間を設けてください。

各部の名称

高圧ばら釘打機【NH 125HD】





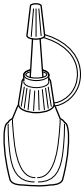
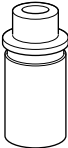
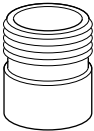
ばら釘打機【NH 125AD】



仕 様

機 形 名	高圧ばら釘打機 NH 125HD	ばら釘打機 NH 125AD
能 力	大径用ネイルガイド：釘頭径 $\phi 7.9 \sim \phi 12.6$ 小径用ネイルガイド：釘頭径 $\phi 6.6 \sim \phi 8.8$	
動 力 形 式	ピストン往復動式	
使 用 空 気 圧 力	1.76 ~ 2.26 MPa {18 ~ 23 kgf/cm ² }	0.49 ~ 0.78 MPa {5 ~ 8 kgf/cm ² }
機 体 の 大 き さ (長さ×高さ×幅)	307 × 124 × 82 mm	245 × 124 × 82 mm
質 量	1.1 kg	1.0 kg
使用エアコンプレッサ	高圧エアコンプレッサ EC 1445H3、EC 1245H3、EC 1445H2、EC 1245H2	
使用エアホース 内 径 長 さ	高圧エアホース 5 mm 以上 30 m 以内	一般圧エアホース 8 mm 以上 30 m 以内

標準付属品

保護メガネ(1個) 	油さし(1個)  常圧用  高圧用
ネイルガイド(小径用) 	ソケット(小径用) 

釘の選び方

本機は、次に示すばら釘打機用釘（弊社販売品）と釘・ドリフトピン（市販品）が使用できます。

- 注**
- 以下に示す釘やドリフトピン以外は使用しないでください。釘がネイルガイドの中に入り込み、作動不良になったり、ネイルガイドを傷めたり、斜めに打ち込まれたりすることがあります。
 - コンクリートや鋼板等への焼入釘やステンレス釘の打ち込みは、故障の原因になるので使用しないでください。
 - 釘頭の大きさに注意してください。市販の丸釘は、頭の大きい物が混入している場合があります。ネイルガイドの中に釘頭が入らない釘は使用しないでください。

1. ばら釘打機用釘（弊社販売品）

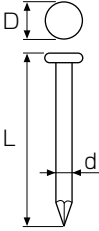
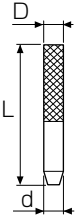
弊社製ばら釘は鉄丸釘（N 90 など）より軸径が細いため、木材が割れにくく、またコーティングを施しているため、木材に打ち込みやすく、抜けにくいという特長を持っています。また、釘を曲がりにくくするため、高強度な材料を使用しています。

弊社製ばら釘打機用釘は本機をお買い求めの販売店でお求めください。

釘形状	形名	L寸法 (mm)	d寸法 (mm)	D寸法 (mm)	色	対応 ネイルガイド*
	H 3490	90	3.4	7.9	黄	小/大
	H 42125	125	4.2	9.8		大

- 注** 市販の細径セメントコート釘や、細径鉄丸釘（FN 90 など）を使用すると釘が曲がったり、詰まったりすることがあるので使用しないでください。

2. 釘・ドリフトピン（市販品）

釘形状	名 称	種 類	L 寸法 (mm)	d 寸法 (mm)	D 寸法 (mm)	色	対 応 ネイルガイド [※]
	鉄丸釘 (JIS A5508)	N 50	50	2.75	6.6	—	小
		N 65	65	3.05	7.3		小
		N 75	75	3.4	7.9		小/大
		N 90	90	3.75	8.8		小/大
		N 100	100	4.2	9.8		大
		N 115	115	4.2	9.8		大
		N 125	125	4.6	10.3		大
	太め鉄丸釘 (JIS A5508)	CN 50	50	2.87	6.76	緑	小
		CN 65	63.5	3.33	7.14	黄	小
		CN 75	76.2	3.76	7.92	青	小/大
		CN 90	88.9	4.11	8.74	赤	小/大
	細め鉄丸釘 (JIS A5508)	BN 50	50.8	2.51	6.76	赤	小
		BN 65	63.5	2.87	7.54	—	小
		BN 75	76.2	3.25	7.92	茶	小/大
	金物接合用釘	ZN 40	38.1	3.33	7.14	—	小
		ZN 65	63.5	3.33	7.14		小
ZN 80		78.3	5.26	11.13	大		
ZN 90		88.9	4.11	8.74	小/大		
	ドリフトピン	—	85 ~ 160	12	12.3	—	大

※ 大：大径用ネイルガイド（釘頭径 ϕ 7.9～ ϕ 12.6）

小：小径用ネイルガイド（釘頭径 ϕ 6.6～ ϕ 8.8）

ご使用前の点検・準備

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

●エアホースの準備

- 高圧ばら釘打機【NH 125HD】：内径 5 mm 以上の高圧エアホース
- ばら釘打機【NH 125AD】：内径 8 mm 以上のエアホース

注 高圧エアホース / エアホースの長さは、30 m 以内の物を使用してください。
エアホースが長いと圧力が低下して、十分な打ち込み力が得られません。

●エアコンプレッサのドレン除去

水や油が内部にたまりますと、さびの発生などで故障の原因になります。

使用前には、エアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きをゆるめて、内部にたまった水や油を除去してください。

乾燥した圧縮空気を使用してください。（詳細はエアコンプレッサの取扱説明書を参照してください。）

●釘の準備と安全点検

用途に合った釘を準備してください。（P.9「釘の選び方」参照）
P.21「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

●空気圧力の確認

機体の性能、寿命、安全に影響を及ぼしますので、空気圧力は以下の使用範囲内で使用してください。

- 高圧ばら釘打機【NH 125HD】：1.76～2.26 MPa {18～23 kgf/cm²}
- ばら釘打機【NH 125AD】：0.49～0.78 MPa {5～8 kgf/cm²}

●給油について

- 1日に2回以上、作業の前後に10～15滴の油をエアプラグから入れてください。作業前の油は潤滑油になり、作業後の油はさび止めになります。
- 油は付属の油を使用してください。その他、市販で使用できる油はP.22「使用潤滑油」を参照してください。なお、混用は避けてください

- 注** ● 高圧ばら釘打機【NH 125HD】に付属の油さしは、ノズルに穴があいていません。針等で穴をあけて使用してください。
- 作業前の場合、給油直後空気を通した直後は、油が排気口と射出口より噴霧状に飛び散るので、油がかかっても支障のない所で2～3本釘を打ってから作業してください。
 - 作業後の場合、注油後1本だけ釘を打つと油が内部に行き渡り、さび防止にもなります。

●ソケットの締付け

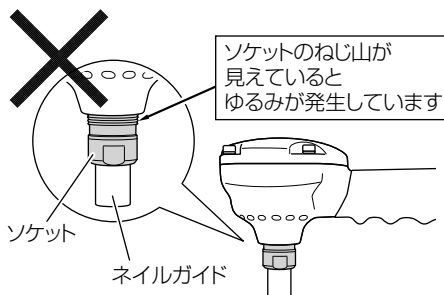
⚠警告

使用前にソケットを規定トルクで締付けてください。

ソケットがゆるんだまま打ち込み作業を続けると、ソケットとネイルガイドがはずれる恐れがあります。

使用中、ソケットのねじ山が見えていると、ゆるみが発生していますので、使用を中断し、必ずソケットを締め直してください。

ソケットの締付け方法は、P.13「ネイルガイドの組み替え」を参照してください。



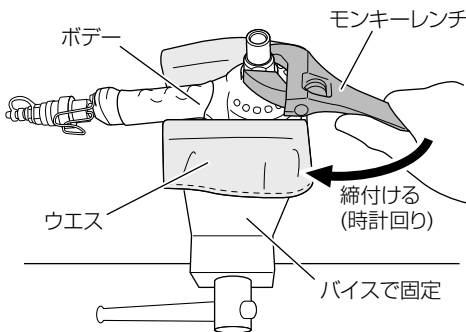
ネイルガイドの組み替え

釘・ドリフトピンの種類に合わせて、小径と大径のネイルガイドとソケットを組み替えてください。梱包時は大径釘用ネイルガイドが装着されています。

P.9、10の釘の選び方の表にある「対応ネイルガイド」を確認してください。

- ① モンキーレンチを使って、ソケットを取りはずします。
- ② ネイルガイドとソケットを変更し逆の手順で取付け、ソケットを軽く締めます。
このとき、取付けるディスクワッシャの向きに注意してください。
- ③ ②で仮締めしたソケットをしっかりと締付けてください。

- 注**
- ソケットを"締め付ける"、"ゆるめる"ときは、ボデーをウエス等で包んでから、バイスで固定してください。
 - バイスやソケットは、強く締めすぎないように注意してください。
ボデーが破損する恐れがあります。

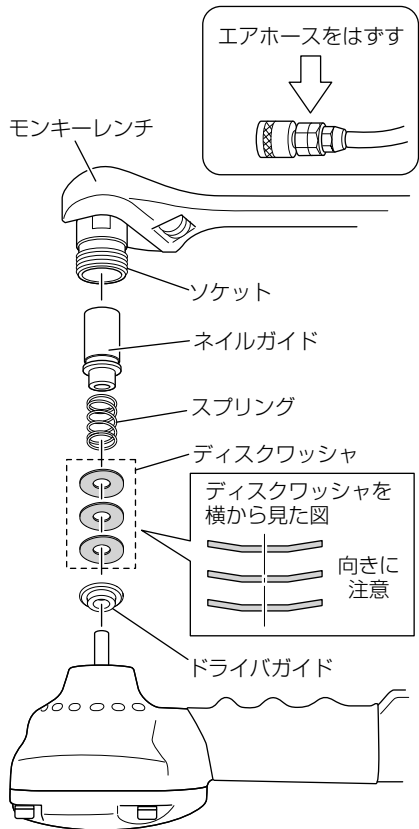


締め付けトルク 37 N・m (380 kgf・cm)
長さ 30 cm のモンキーレンチを使用したときの柄の先端にかかる力は、13 kgf を目安にしてください。

警告

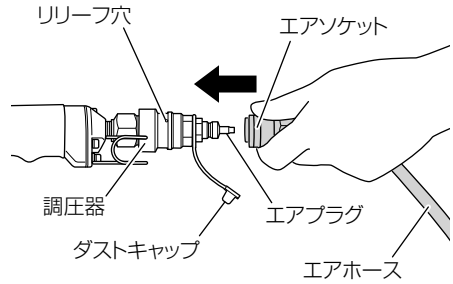
- ネイルガイドを組み替えるときは、エアホースをはずしてください。
- 組み替えた後、ネイルガイドがスムーズに上下動し、ソケットが確実に締まっていることを確認してください。

- 注** ソケットのねじ部には、ゆるみ止め剤を塗布しています。ネイルガイドの組み替えを2、3回行くと、ソケットがゆるみやすくなるので、お買い求めの販売店で新品のソケットをお求めください。



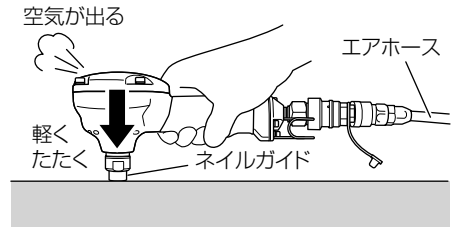
エアホースの接続

- ① エアプラグからダストキャップをはずします。
- ② ごみやほこりが内部に入らないよう、エアプラグの口元のごみをふき取ります。
- ③ エアソケットをエアプラグにしっかりとさし込んで、エアホースを接続します。



注 高圧ばら釘打機[NH 125HD] の場合、エアホースを接続した直後、調圧器のリリーフ穴から一時的に空気が排出されることがありますが、故障ではありません。

注 エアホースを接続したときに、前方の排気口から空気が出ることがあります。このときは、木材などに本機のネイルガイド部分を軽くたたいてください。(右図参照)
空気が止まり、作動可能な状態になります。



釘・ドリフトピンを打つ

注 低温時に使用すると、機体の作動が悪くなることがあります。

1 給油する

10～15滴の油をエアプラグから入れてください。さび止めのため、作業後も給油してください。(P.12「給油について」参照)

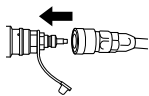


2 ネイルガイドの確認

使用する釘(ドリフトピン)に対応したネイルガイドが機体に装着されていることを確認してください。(P.9「釘の選び方」、P.13「ネイルガイドの組み替え」参照)

3 エアホースを接続する

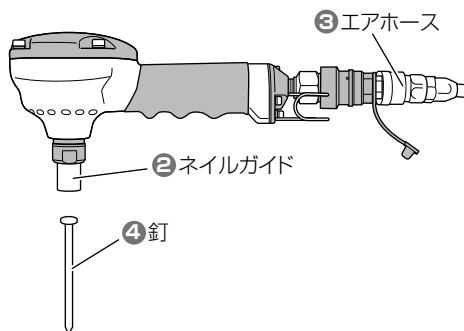
エアホースのエアソケットを、エアプラグにさし込みます。(P.14「エアホースの接続」参照)



4 釘(ドリフトピン)を打つ

作業に応じた打ち方で、釘(ドリフトピン)を打ち込みます。(P.16「釘の打ち方」、P.19「ドリフトピンの打ち方」参照)

注 作業後は、エアコンプレッサの空気を抜いて、空気圧力を0にしてください。ドレン抜きをゆるめると、タンク内のドレンが除去されると同時に、圧縮空気が抜けて空気圧力が0になります。

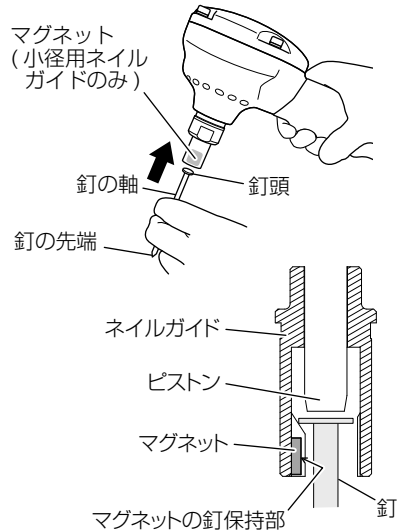


釘の打ち方

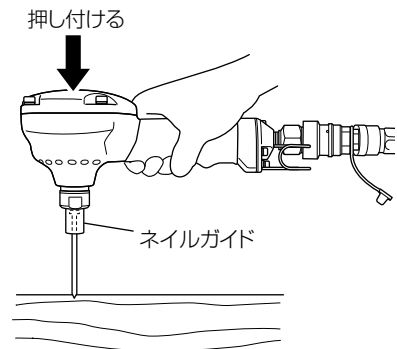
●マグネットで釘を保持して打つ場合

小径用ネイルガイドには、内部のマグネットで釘を保持できます。
大型ネイルガイドにはマグネットはありません。P.13「ネイルガイドの組み替え」を参照し小径用ネイルガイドを使用してください。

- 1 釘の軸を指で軽く持ち、釘頭をネイルガイド内にさし入れ、右図のようにマグネット付近の保持部に釘を吸着してください。



- 2 釘の先端を打つ所に当て、機体を押し付けて、釘を打ち込んでください。

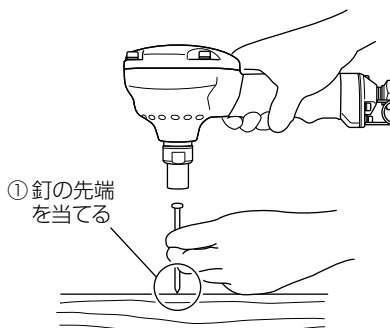


● 指で釘を保持して打つ場合

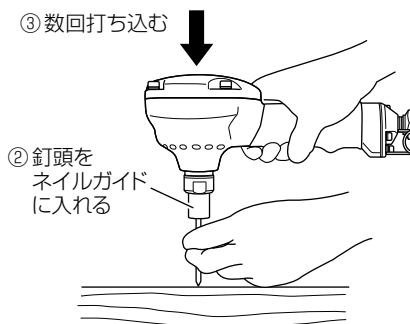
⚠ 警告

指で釘を保持して打ち込むときは、釘の先端を打ち込み対象物に当て、その後、ネイルガイドの中に釘頭を入れてください。

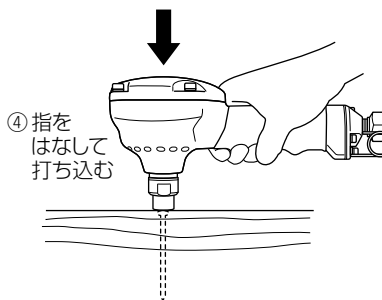
- 1 釘の軸を指で軽く持ち、釘の先端を打つ所に当てます。



- 2 ネイルガイドの中に釘頭を入れて、釘がある程度打ち込まれ安定するまで機体を軽く押し付けます。



- 3 釘がある程度打ち込まれ安定したら釘から指をはなし、釘頭が面一になるまで機体を押し付けます。

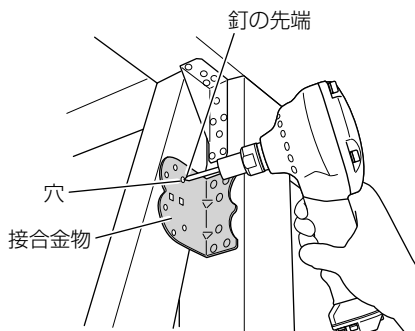


●接合金物への釘止め作業

⚠警告

釘の先端が接合金物の穴に入ったことを確認してから打ち込んでください。

P.17「指で釘を保持して打つ場合」に従って打ち込んでください。

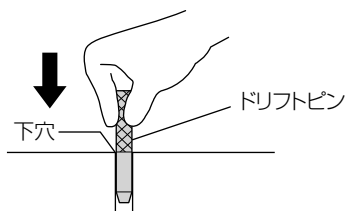


ドリフトピンの打ち方

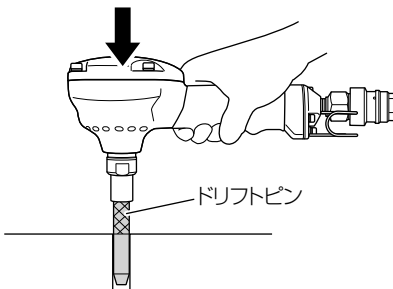
⚠ 警告

- ドリフトピンの先端が、打ち込み対象物の下穴に入ったことを確認してから打ち込んでください。
- ドリフトピンの先端を持って、ネイルガイドにセットしないでください。ピストン先端を押してしまうと不意な作動を招き、けがの原因になります。

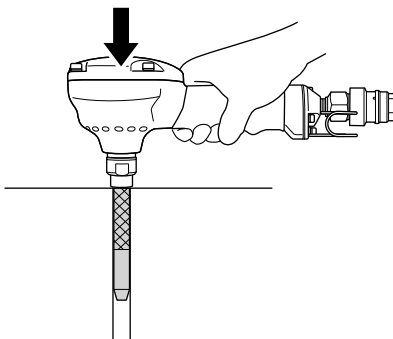
- 1** ドリフトピンの先端を対象物の下穴にさし込んでください。



- 2** ネイルガイドにドリフトピンの頭を入れて、機体を押し付けてドリフトピンを打ち込んでください。



- 3** ドリフトピンが面一になるまで、機体を押し付けます。



調圧器について【NH 125HDのみ】

⚠警告

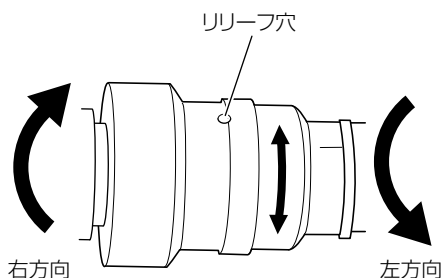
調圧器で打ち込み調整をするときは、次のことに注意してください。

- ネイルガイド内に釘が入っていないことを確認する。
- ネイルガイドを台や床などに載せて、押し上げた状態にしない。
- 射出口を人体に向けない。

高圧ばら釘打機【NH 125HD】には、釘打ち込み能力（釘の長さ、部材のかたさなど）に応じて出力を無段階に変えられる調圧器が付いています。

調圧器を右方向（目盛りが大きくなる方向）に回転すると打ち込み能力が強くなり、左方向（目盛りが小さくなる方向）に回転すると弱くなります。

注 調圧時、調圧器のリリーフ穴から一時的に空気が排出されることがありますが、これは故障ではありません。



この調圧器は、高圧エアホース側の圧力 $1.76 \sim 2.26 \text{ MPa}$ { $18 \sim 23 \text{ kgf/cm}^2$ } を一般圧 ($0.61 \sim 0.71 \text{ MPa}$ { $6.2 \sim 7.2 \text{ kgf/cm}^2$ } 前後) に減圧しています。

調圧器内にごみなどが入ると、密封性が低下し、この状態でエアホースをつないだまま長い間放置すると、徐々に機体内の圧力が上がってリリーフ穴から空気が排出されることがあります。

万一、空気が排出された場合は、次の手順に従って状態を確認してください。空気の排出が止まれば正常です。

- ① すぐにエアホースをはずします。
- ② エアコンプレッサの圧力が 1.76 MPa { 18 kgf/cm^2 } 以上に復帰するまで待ちます。
- ③ エアホースをつなぎ直します。

（1回で空気の排出が止まらない場合は、①～③の手順を数回繰り返してください。）

上記①～③を行ってもリリーフ穴から空気を排出し続ける場合は、調圧器の故障です。直ちに作業を中断してエアホースをはずし、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

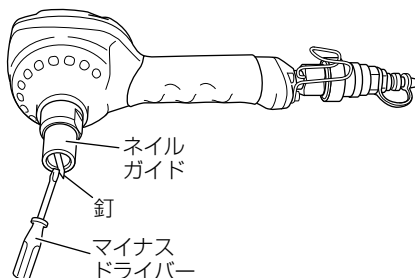
保守・点検

⚠ 警告

- 釘が詰まったときは、エアホースをはずして使用を中断してください。
- 釘が詰まった状態で機体を作動させないでください。
- 点検・手入れの際は、エアホースをはずしてください。

● 釘詰まりの直し方

- ① エアホースをはずします。
- ② ネイルガイド内に詰まった釘を、マイナスドライバーなどで取り除きます。
- ③ ネイルガイドがスムーズに上下動くことを確認してください。
(下の「ネイルガイドの点検」参照)



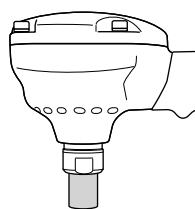
● ネイルガイドの点検

ネイルガイドの摺動部はときどき掃除し、注油してください。

本機を木材などに押し付け、ネイルガイドの作動がスムーズであるかどうか確認してください。

注油することにより、作動がスムーズになると同時にさび止めにもなります。

小径用ネイルガイドのマグネットに鉄粉等が付着すると釘吸着力が低下しますので、ときどき布や粘着テープなどで取り除いてください。



【大径用ネイルガイド】



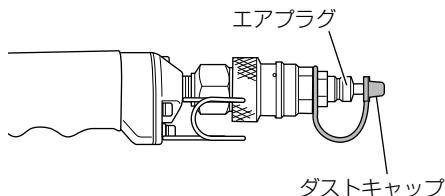
【小径用ネイルガイド】

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●ごみ・ほこりの防止

使用しないときはエアプラグにダストキャップを付け、機体内にごみが入るのを防いでください。



●機体や付属品の保管

注 エアプラグにダストキャップをさし込むときは、機体を逆さにして十分水抜きしてからさし込んでください。

- 作業後は、機体の内部にごみやほこりが入らないよう、ダストキャップをエアプラグにさし込み、保管してください。
- 長期間使用しない場合：
 - さび防止のため、エアプラグから給油し、2、3本釘を打って油を内部に行き渡らせてください。
 - 金属の摺動部には油を薄く塗布してください。
 - 油は、付属の油をご使用ください。
その他、使用できる油は P.22「使用潤滑油」を参照してください。なお、混用は避けてください。
- 気温が下がると、ゴム製部品の収縮で空気が漏れ、始動が悪くなる場合がありますので、暖かい場所に保管してください。
- お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

使用潤滑油

使用潤滑油は、別売の釘打機・タッカ用オイルをお勧めします。この油も含め使用可能な潤滑油は下表のとおりです。

油の種類		銘柄および品名
釘打機・タッカ用オイル		———〔別途販売しております〕
その他の オイル 〔市販品〕	ベビコン油	日立ベビコン用オイル
	エンジンオイル	エンジンオイル各銘柄 SAE10W、SAE20W
	タービン油	タービン油各銘柄 ISO VG32～68(#90～#180)

注 潤滑油は上表の油を使用してください。
不適正な油を使用すると作動不良の原因になります。

ご修理のときは


修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～12:00, 13:00～17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>